

事務事業名	芳賀地区観光推進協議会参画事業				担当	産業環境部 商工観光課 観光係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	83-8135		
施策名	4	観光の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成9 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	7. 商工費	1. 商工費	3. 観光費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<p>平成9年に芳賀郡1市4町の総合的な振興整備の基本構想策定及び構想に掲げる事業の具現化を目的に芳賀地域整備推進協議会が設置された。この協議会の負担金を芳賀郡1市4町で負担している。</p> <p>また、芳賀地域整備推進協議会の中にある広域観光専門部会で、観光情報発信事業として芳賀地区観光キャンペーンの計画と実施、栃木県観光キャンペーン等への参加、観光客誘致促進事業（旅行雑誌記者取材会及びツアー定着化事業）等を行っている。</p> <p>平成18年度から首都圏等の旅行記者取材会を実施し芳賀地区観光の情報提供を実施している。</p> <p>平成23年度負担金実績真岡市140,000円、各4町70,000円、事務局は芳賀地区広域行政事務組合。繰越金が多いため、平成24年度から当面の間は負担金を徴収しないこととしている。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
<p>28年度実績</p> <p>芳賀地区観光推進協議会に名称を変更。広域観光専門部会への出席。県が主催するやすらぎの栃木路での新宿、大宮、水戸等での広域観光キャンペーンへの参加。広域パンフレットの更新作業。繰越金が多いため、負担金はしばらくの間、不要。</p> <p>本県へのDC誘致活動推進のため県東地域分科会として、旅行エージェント向け説明会への参加、パンフレット作成、県東地域独自事業の検討等を行った。</p> <p>29年度計画</p> <p>28年度と同様</p>		名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		ア 負担金額	千円	0	0	0	0	300
		イ 観光専門部会の回数	回	9	8	8	8	10
		ウ 観光キャンペーンの回数	回	5	3	3	3	5
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
芳賀地区観光推進協議会		名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		ア 芳賀地区観光推進協議会会員数	人	5	5	5	5	5
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
真岡市や芳賀郡4町のイメージアップや広域的観光振興に役立てる。		名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		ア キャンペーンで配布したパンフレット数	部	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
		イ 芳賀管内1市4町の観光客数	人	8,266,479	8,609,200	9,041,543	9,388,081	9,761,948
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか）		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
真岡市の観光振興と観光誘客を図る。		名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,845,313	2,865,281	2,865,612	2,912,127	2,940,000
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	130	130	130	130	130
		人件費計(B)	千円	528	549	545	540	540
トータルコスト(A)+(B)		千円	528	549	545	540	540	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	芳賀地域整備推進協議会で策定した「芳賀地域整備構想」の観光ネットワークの実現に向けて、広域観光専門部会で芳賀郡1市4町のイメージアップや観光振興を図るため、平成9年から本協議会に参画している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	当初は手探り状態であったが、現在では広域観光キャンペーンも旅行者やJRとタイアップして実施され参加者が増え、芳賀郡1市4町のイメージアップが図られている。また、雑誌記者、新聞記者等の報道関係者を各市町に招待し、観光名所や特産品を紹介し情報を発信している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 芳賀郡内の広域的観光キャンペーンや観光客誘致促進事業に参画することにより、真岡市のイメージアップや観光振興を図っているため、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 広域観光キャンペーンや観光客誘致促進事業は真岡市のイメージアップと観光振興に役立ち妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 観光キャンペーンや観光客誘致促進事業によって、真岡市や芳賀郡を一体的にPRすることにより、誘客効果が上がり真岡市の観光振興に繋がっており適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 広域観光キャンペーンを行い、芳賀郡市町の連携協力が図られ誘客効果を上げており、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 広域行政事務組合が、芳賀郡市町を域的にまとめ一体化して観光振興を図るための負担金であり広域連携が図れなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 県内の市町村及び観光協会等観光関係者で、構成されているやすらぎの栃木路。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 対象区域が違い、統合はできない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 継続的な広域観光キャンペーンや観光客誘致促進事業の最小限の経費負担であり、協議会で定められた負担方法であり削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 観光専門部会や観光キャンペーンの参加と負担金交付事務に関する必要最小限の経費であり削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 芳賀地域整備推進協議会への負担金は、負担割合の基準を設け算出されており公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							